

平成25年度 学校評価 自己評価及び学校関係者評価書

学校経営目標・グラウンドデザイン		マニフェスト	教職員による評価	児童による評価	保護者による評価
知	学ぶ環境を整えます ○ 基本的な学習内容をもとに、応用力や表現する力を育てる研究推進 ○ 個別指導(TT指導・少人数指導・家庭学習の充実)の工夫 ○ 学力向上プランや各種テスト結果を活かした授業づくり ○ 読書活動の積極的な推進 ○ ICTを活用した学習活動の推進 ○ 授業以外の学習の場の工夫	授業改善を目指した研究の深化を図る。 新学習指導要領のねらいに基づく確実な実施と検証。 全国学力・学習状況調査や、市内統一テストや学力検査の結果を踏まえ、学力の向上をめざした指導方法の改善・充実を図る。 英語活動の成果を生かし、ALTの活用を図りながら、5・6年英語活動の授業実践を改善・充実し、教師の力量の向上を図る。 特別支援学級の円滑な運営と個別の教育支援計画の作成 読書活動の充実を図り、読書習慣の定着を図る。 家庭学習の手引き等を活用などをとおし、学習効果を図る。	わかる喜びを体得させ学習意欲につなげる魅力ある授業づくりができた。 2.8 個に応じた指導や学習形態の工夫を行い、基礎基本の定着を目指した授業づくりができた。 2.9 児童の実態把握を生かし、思考力や表現力の育成を図ることができた。 2.7 学級の中で自己実現や存在感が高まる指導実践が図られた。 2.9 家庭との連携を生かし、学力を高めることができた。～家庭学習の習慣化を図った。 2.6 特別支援教育についての理解を深め、適切な体制の中で指導を進めることができた。 3.1 誇りと自信をもって、自らの資質・能力の向上に努めることができた。 2.9 主題研究を中核として、生き生きと学習に向かう子どもを育てることができた。 2.7 学年経営による共同体制のもと学年・学級の目標は達成しつつある。 2.9	先生は、毎日の勉強を工夫して教えてくれるのでわかりやすい。 3.2 家では、家庭学習や宿題をきちんとしている。 3.1	先生はわかりやすい授業づくりに努めている。 3.1 学校は、基礎的な学力が身に付く指導を行っている。 3.1 先生は、家庭学習の習慣が身に付く取組を行っている。 3 通知表は、お子さんの努力の姿がわかるように工夫されている。 3.1 お子さんの読書量は増えている。 2.5

徳	温かな人間関係を広めます ○ 明るい挨拶や正しい言葉遣いの奨励 ○ 命を大切に教育の充実(いのちの授業) ○ 道徳教育の重視と体験活動の充実 ○ 他者をも大切に人権意識の高揚	不登校やいじめの早期発見・早期対応に向け、児童・保護者の悩みに耳を傾けるために、教育相談の在り方を工夫する。 本校のこれまでの道徳教育の成果を生かし、心のノートの活用を工夫した、授業実践を工夫する。 入学式・卒業式における国歌斉唱においてさらに指導方法の工夫を図る。	挨拶や後始末など基本的な生活習慣の定着を図った。 3.1 問題行動の未然防止や善悪の判断を身に付けさせた。 2.8 児童と教師、児童相互の人間関係を深め、思いやりのある関係を築くことができた。 2.9 道徳教育を推進し、道徳の授業の充実を図った。 2.7 自他の生命を尊重し、自覚の育成に積極的に取り組むことができた。 2.8	元気な挨拶ができる。 3.3 きまりを守った生活ができる。 3.3 学校では、友達と仲良く過ごしている。 3.6 先生は困ったり悩んだりしたときに相談にのってくれる。 3.3	学校は、基本的な生活習慣が身に付く指導を行っている。 3.1 学校はいじめのない学級づくりに取り組んでいる。 2.7 学校は善悪を判断する力や社会のルールを守る力を育てている。 2.8 学校は命の大切さを学ぶ教育ができています。 2.7

体	健康な体と安全安心な環境をつくります ○ 清潔な学校環境の整備 ○ 体力作りの日常化 ○ 安全安心な環境作りを目指した保護者や地域町内会との連携 ○ 防災教育の充実と災害時の対応の見直し	「早寝早起き朝ご飯」や自動車送迎を減らす為の保護者の理解への啓発を図る。 学校が発信する情報(学年・学級通信)や掲示物の工夫を生かし、家庭教育や地域へ見える形で情報を発信し啓発を行う。 不審者侵入対策・不審者遭遇対策および自然災害に対する、訓練の見直し他の機関との連携。	子どもの心身の健康を育む保健指導や体力向上の取組に努めた。 2.8 清潔で安全な環境整備に努めた。 3.3 登下校の安全や災害時の対応及び学校事故等における対応の充実を図った。 3.1 情報提供を積極的にを行い、本校の教育活動への理解が深まった。 2.9 授業参観や行事などを通して、地域や保護者の理解や協力を得ることができた。 2.9 児童が健康で安全な生活を送ることができるよう学校環境の整備が十分に行われた。 3.3 校舎内外の環境整備に努め、施設設備の管理及び学習環境を整えることができた。 3	めあてに向かって、体力づくりに取り組んでいる。 3.3 朝食は毎日食べている。 3.8 家族に学校のことをよく話している。 3.3 学校からのおたよりをきちんと見せている。 3.6	学校は子どもの体力や健康についての指導を行っている。 3 学校は安全対策(不審者、登下校の安全、災害等)を適切に行っている。 3.3 学校は、子どもや保護者・地域住民の声を学校運営に反映している。 2.6 学校・学年・学級だよりは知りたい情報が掲載されている。 3 学校は参観日や懇談会を適切に設定している。 3.3 学校は、保護者からの問合せや要望・相談に对应している。 2.7 お子さんは学校のことをよく話している。 3.1 授業参観日や懇談会に出席し、お子さんの学校生活の様子を把握している。 2.9 お子さんは学校生活に満足している。 3.1

評価の基準 3. 2以上A 2. 4以上3. 2未満B 2. 4未満C

知	達成状況	改善の方策	学校関係者評価	自己評価の適切さ	改善策の適切さ	学校関係者評価者による意見
	B	・教育活動全体が円滑に、効率よく進める。基礎基本の定着を目指した授業づくり。 ・家庭学習への取組の充実		(A) B C (A) B C	・授業を大切にして取り組んでいる。教職員の評価が低いことから、教育に熱意と自信をもって進めてはどうだろうか。児童の実態を把握し、一貫した教育が必要ではないか。	
徳	B	・挨拶の習慣や読書活動の更なる充実。 ・道徳の時間の授業内容の改善と新「心のノート」の活用。	(A) B C (A) B C	・豊かな心を育てるために、道徳の時間を大切にし指導を重ねることは大切でないか。 ・新しい道徳のノートの使い方を工夫。悪いうわさやいじめなどの未然防止。		
体	B	・継続的な体力づくりの取組と保健指導の充実 ・子どもが安心してできる環境づくりと好ましい生活リズムの取得	(A) B C (A) B C	・子どもは不審者に対する関心が高い。地域も警察と合同して取り組んでいる。 ・人間関係、信頼関係を大切に。教師に対する信頼度をさらに上げる工夫を。		